



発行所 三崎港報社

〒238-0243
三浦市三崎4丁目11番5号
電話046(881)5245番(代)
FAX 046(881)5246番
購読料1ヵ月1800円1部70円
郵送1ヵ月3500円(前納)
営業広告1段1cm700円
特別広告※別規定による
(広告料はすべて前納)

大きくなつてネと声をかけ

マダイ稚魚放流

NPO小パール隊等

児童70人がウォータースライダー使い

海洋教育の一環に9日、小網代湾でマダイの稚魚放流が行われた。毎年、NPO法人小網代パール海育隊(略称・小パール隊)とみうら学海洋教育研究所がタイアップしている。約70人の児童が参加し、滑り台のような『ウォータースライダー』を使い放流した。

放流された稚魚は体長10センチ前後で、神奈川県栽培漁業協会が約1年かけて育てたという。小さなバケツに2〜3匹ずつ分けられた後、

湾内に放流された。ウォータースライダーの上には常に海水が流され、魚が傷つかないよう工夫されている。関係者によると、標識をつけたマダイが20年後に大磯で捕獲された例があり、養殖されたマダイが最低でも20歳に達していたことがわかったという。小網代の森と小網代湾が密接に繋がっているとし、小魚の稚魚はアマモやカジメをゆりかごに成長する。海水温が上昇し、アマモやカジメが枯れ

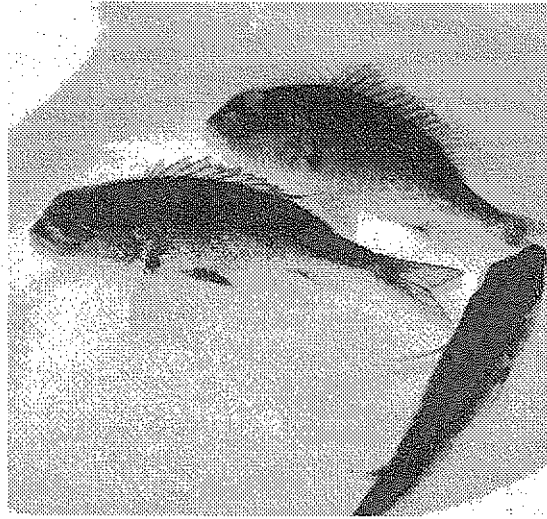
てしまい、海底が砂漠化している。海藻の中には花が咲き、実をつけて増える種類もある。回復させるには時間がかかるが、再生は絶対必要などとおびかけた。参加した児童は三崎小学校と名向小学校が3年生、南



滑り台に稚魚を流す児童たち

下浦小学校は3〜4年生。児童たちはスライダーを滑っていく稚魚に「元気でね」「大きくなってネ」などと声をかけていた。

火の用心



放流されたマダイの稚魚